

2009年度 情報システム・バックアップオフィス 研究会（ITBO研）の活動

2010年4月16日(金)

特定非営利活動法人 **事業継続推進機構**(BCAO)
情報システム・バックアップオフィス研究会

1 . 研究会活動目的

◆情報システム研究会

- 事業継続を支える情報システムの対策の現状、課題の調査分析と、課題解決に向けた各種研究活動の推進

◆バックアップオフィス研究会

- 事業継続を支えるバックアップ・オフィスの現状調査分析を通じ、必要な機能 / 要素を洗い出し、それに対する現状の問題点 / 課題解決に向けた各種研究活動を推進

相互に関係しているため共同で開催

2 . 2009年度の活動方針

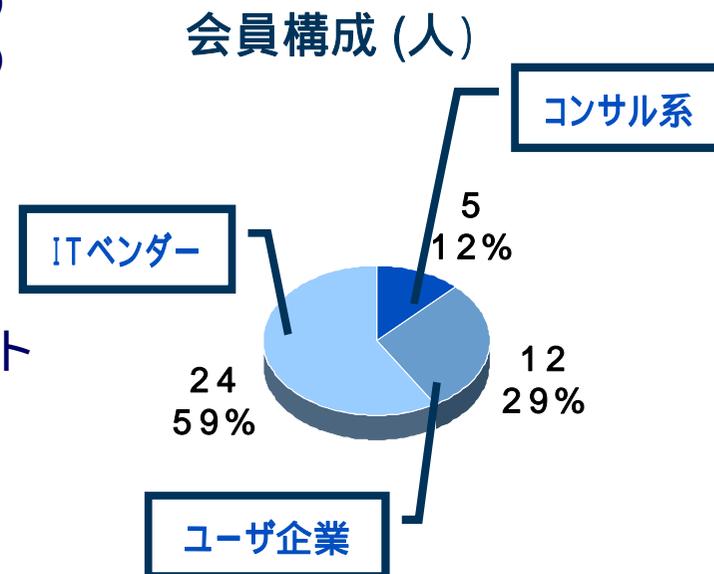
◆前年度（2008年）の活動を踏まえ、さらに発展させる

- メンバー相互の**情報共有**を行い、見識を広げる
- 積極的な意見交換を行い、**交流を深める**
- 参加メンバーの**役に立つテーマ**にフォーカスする（自分の仕事に行かせる情報）
- 他研究会（例；新型インフル研）とのコラボレーションを進める

3 . 研究会メンバー構成

研究会メンバー構成 (2010年3月31日時点) 敬称略

- 座長 : 大塚 純一 (日本アイ・ビ・エム株式会社)
- 副座長 : 川村 丹美 (株式会社シーエーシー)
- 副座長 : 関山 雄介 (大成建設株式会社)
- コアメンバー : (7名)
 - 近藤 隆一 (株式会社富士通エフサス)
 - 土橋 篤 (みずほ情報総研株式会社)
 - 間 博之 (富士通エフ・アイ・ピー株式会社)
 - 伊藤 高信 (テレコンティニューイティ株式会社)
 - 羽石 将士 (日立電子サービス株式会社)
 - 衣笠 宗彦 (株式会社モア・イフェクト)
 - 加藤 誠 (株式会社日立製作所)
- ITBO研究会会員 : 41名 (6 . 研究会員リスト
座長、副座長、コアメンバー含む)



4. 活動実績

2009年度定例研究会の開催（全8回）

- 年初パンデミック発生のため活動を休止したため例年より少ない開催となりました
- 多くのテーマに意欲的に取り組み有意義な活動となりました。

月 / 日	6 / 4	7 / 2	8 / 6	9 / 3	10 / 1	11 / 5	12 / 3	1 / 7	2 / 4	3 / 4	4 / 8		
月間テーマ	テレ研究会	テーマ決定 ・活動方法 決定	夏 休 み	パンデ ミック	BIA	(IT訓練ノウハウ共有)					活動報告書 完成		
1.プレゼン	パン デ ミ ク ク の た め 中 止			(パンデ ミック)	BIA研究	クラウド	BS2599 9	事例					
担当						日立	NEC	大成建設					
2.テーマ活動						# 1	# 2	# 3	# 4	まとめ	報告レビ ュー		
担当						細坪さん							
担当						羽石さん	(企画)土橋さん						
その他				意見交換				忘年会					活動報告会 ：4月下旬

4. 活動実績

プレゼン（5回）

- 今年は研究会会員だけでなく多彩なゲストをお呼びしてテーマに沿った発表と意見交換を行いました。

4月2日	「BCAOの最新のトピックについて」	細坪様	BCAO事務局長
10月1日	「BIAについて」	細坪様	BCAO事務局長
11月5日	「事業継続とクラウド・コンピューティングについて」	羽石様	日立電子サービス
12月3日	「NECグループのBCP策定」	坂本様	日本電気株式会社
1月7日	「エコ&クラウド時代におけるデータセンターの建築・設備」	川口様 瀧上様	大成建設株式会社

4. 活動実績

テーマ活動

- ◆ IT 訓練等のノウハウ共有（5回）
 - 各自のIT訓練の経験やノウハウを持ち寄り、ITの災害復旧計画あるいはBCPの実効性について議論する
- ◆ ITBO用語整理（4回）
 - 典型的なIT特有の用語を抽出し、その意味や類義語を整理する
- ◆ 他研究会とのコラボレーション（2回）
 - BIA研究や最新トピックについての発表やディスカッション



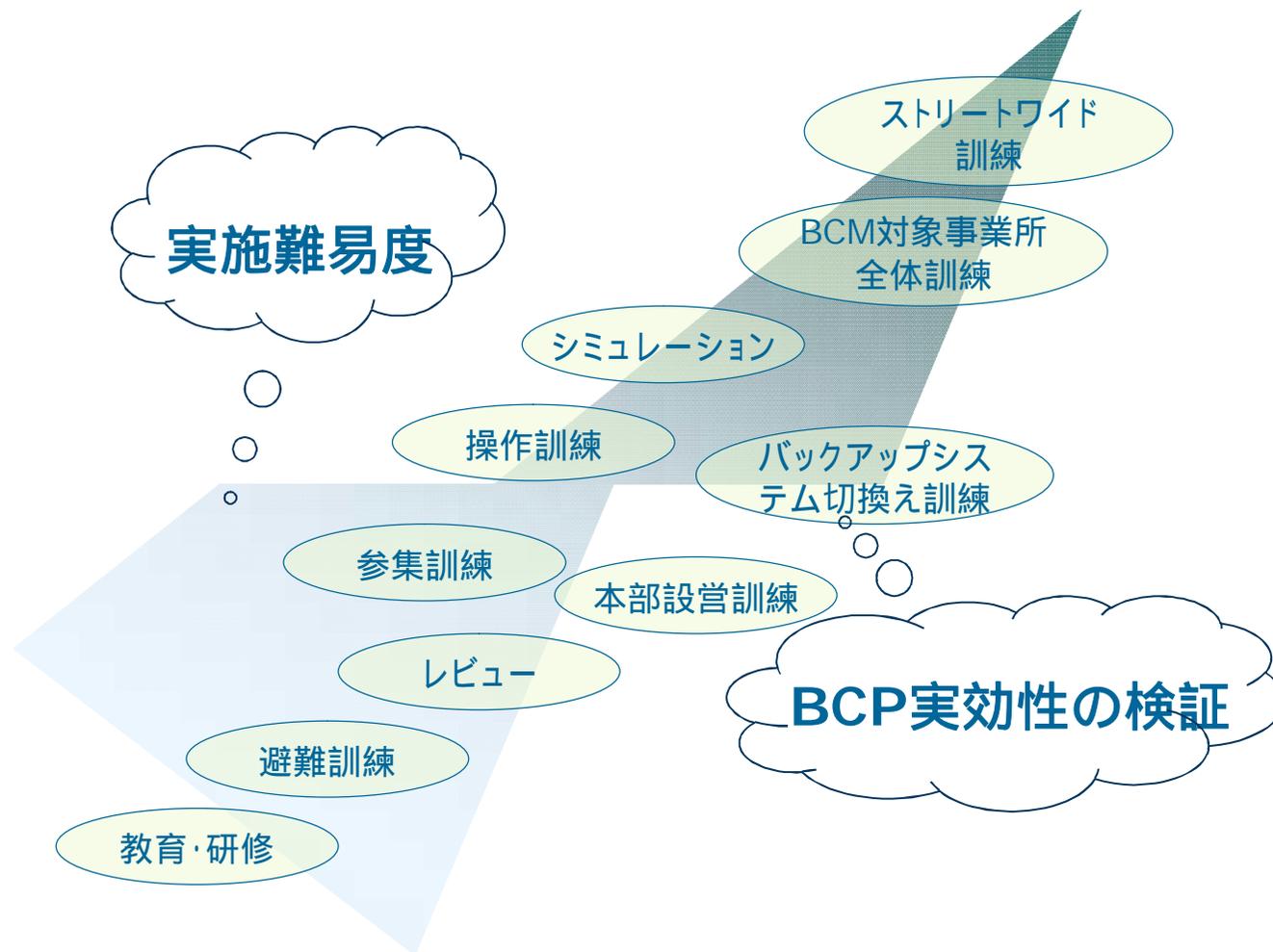
4. 活動実績

会員の声

プレゼンについて	ITBO用語	BIAの進め方	訓練ノウハウ共有
ITのDRなど訓練の事例・苦労したことをお聞きしたい。	用語の使われ方の大分類を先にやるべきと思われる。	ITが主導するBIAはない あくまで、BIAの結果それを実況するITSCを担当するという関係。	有効な訓練とは何か？協議出来れば…。今後の参考になるのでは？
各テーマとITBOのかかわり関係をディスカッションできるといい。	BO関係も何かないだろうか？	アジェンダでは通常のBIAのアプローチであり、BIA研究会との違いをだせるでしょうか。できるなら賛成です	どう継続し進化・成熟度を上げるか。
訓練について提案しているような事例紹介。	バックアップサイト		事例の紹介を中心に行うのが限界、訓練についてコンセンサスをまとめるのは難しい。
毎回各テーマを作り、それについて各社どうしているかを話していただく。	各社で異なるのであれば議論が必要な場合がある。事前にネットで用語を配布し意見を整理しておいてもらう。 BS2S999との整合性。		言葉の定義・体系整理が必要資料の中の「表 - 訓練の種類」を充実させる。
			まずは用語の整理を。

5. テーマ活動 訓練等のノウハウ共有

さまざまな訓練



5. テーマ活動 訓練等のノウハウ共有

訓練に関するアンケートの実施（ITBO研究会内）

目的 他社の動向を参考とすることで、
訓練の計画策定・推進に役立つ知見を広める

6つの訓練に分類し、実施状況を確認

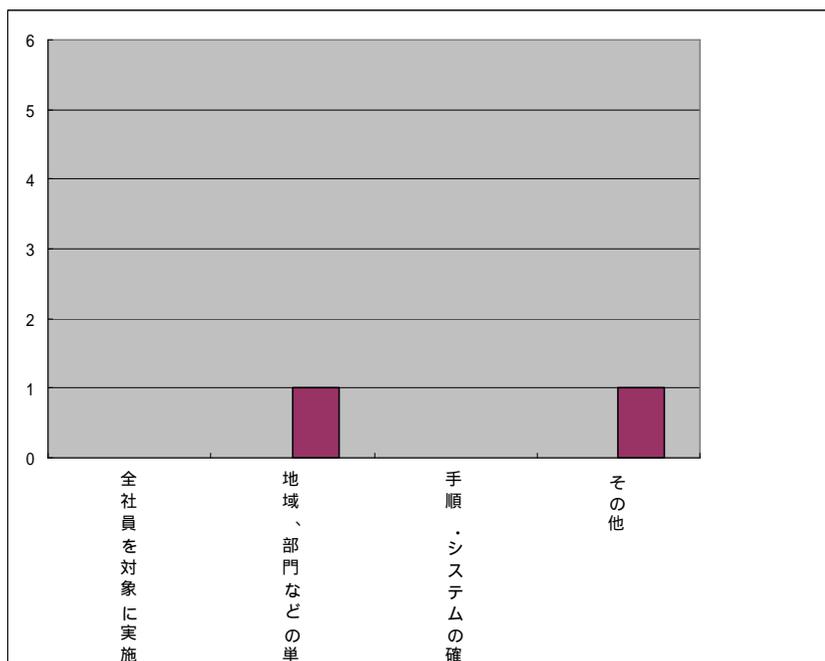
緊急対応組織訓練
安否確認訓練
出勤・帰宅訓練
在宅勤務訓練
システムDRP訓練
バックアップオフィス訓練

緊急対応組織訓練	
1. 緊急時に緊急事態の報告を受け、意思決定・現場指示を行う対応組織は定められていますか？ YES(以下複数選択可) 設置基準がある 権限者が定められている 設置場所が定められている 連絡・通信手段が用意されている PC、社内ネットワーク環境などが準備されている その他(具体的に):	NO (定められていない理由、その他自由意見)
2. 前記回答がYESの場合、この組織を稼働させる訓練は実施していますか？ YES(以下複数選択可) □ 緊急連絡線の訓練を実施している 組織設置場所への参加訓練を行う 予め知らされた緊急事態の想定に沿って、組織設置から指示・報告などをシミュレーション その場で緊急事態の課題を与え、組織設置から指示・報告などをシミュレーションする 設置場所に予め用意したPC・通信などインフラを確認する。 □ PC・コンテナラなど想定している緊急事態の範囲外の事態にも耐える訓練を実施し	NO (実施していない理由、その他自由意見)
[前記質問の回答がYESの場合、以下3.～6.の質問に回答してください]	
3. 訓練は定期的に行っていますか？	YES (1回/2年、 1回/年、 2回/年、 その他()) NO (実施時期はどのように決めていますか:)
4. 訓練はどのような部署が所管して実施しますか？	経営企画部門 総務部門 システム部門 緊急時に設置される組織 その他()
5. 1回の訓練の規模はどの程度になりますか？	人数 ~10人 ~50人 ~500人 500人以上 知る立場にない 時間 ~1時間 ~半日 ~1日 1日以上 知る立場にない 費用 社内ではこの訓練について費用を管理していない 人件費を含めて(万円)として管理している 人件費は除き(万円)として管理している 知る立場にない
6. 訓練の効果: 訓練のポイント・課題など、自由に意見を記入してください。	()

5. テーマ活動 訓練等のノウハウ共有

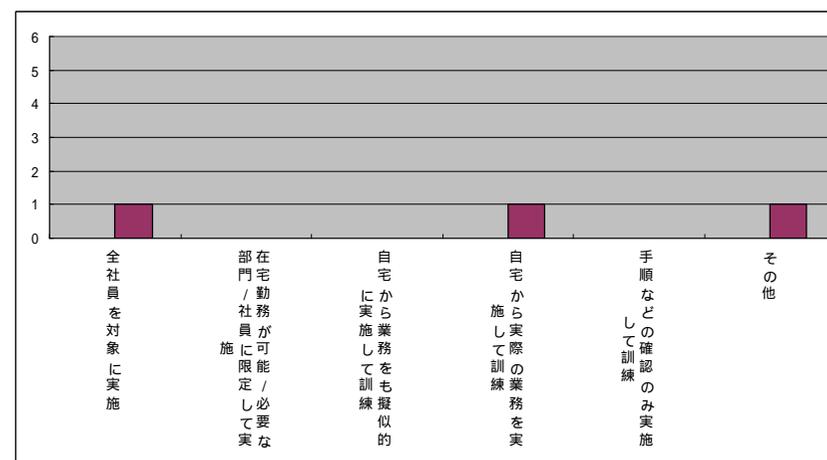
訓練に関するアンケート結果（ITBO研究会内）

< 出勤・帰宅訓練の実施状況 >



●約75%の企業が何らかの対応を用意しているものの、約60%の企業が、帰宅訓練をしていない

< 在宅勤務訓練の実施状況 >



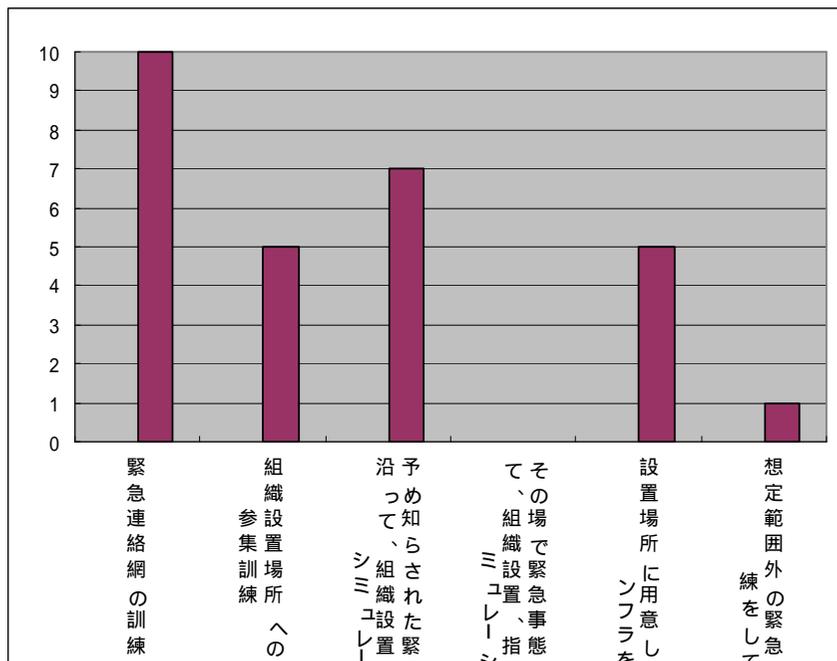
● バックアップオフィスの未対応が多い

●半数程度の企業が何らかの手段を用意しているものの、ほとんどの企業で訓練をしていない

5. テーマ活動 訓練等のノウハウ共有

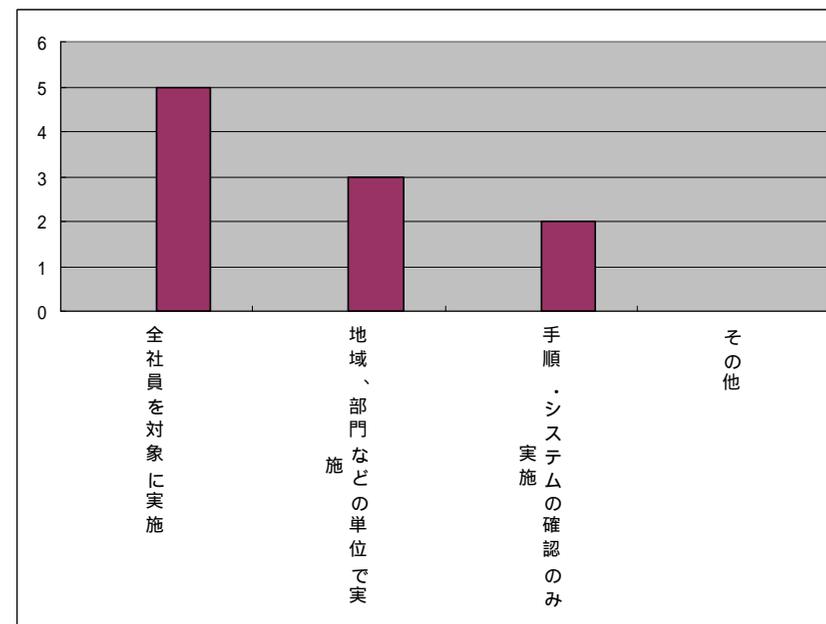
訓練に関するアンケート結果（ITBO研究会内）

< 緊急対応組織訓練の実施状況 >



●約92%の企業が、緊急時の対応組織をあらかじめ定めているが、十分な訓練の実施とは言えない

< 安否確認訓練の実施状況 >

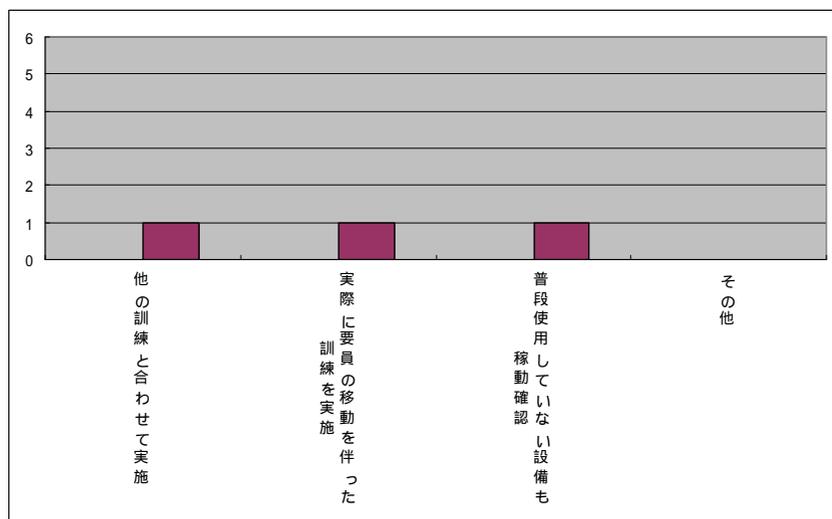


●約60%の企業が安否確認システムを導入し、訓練状況も高い割合になっている

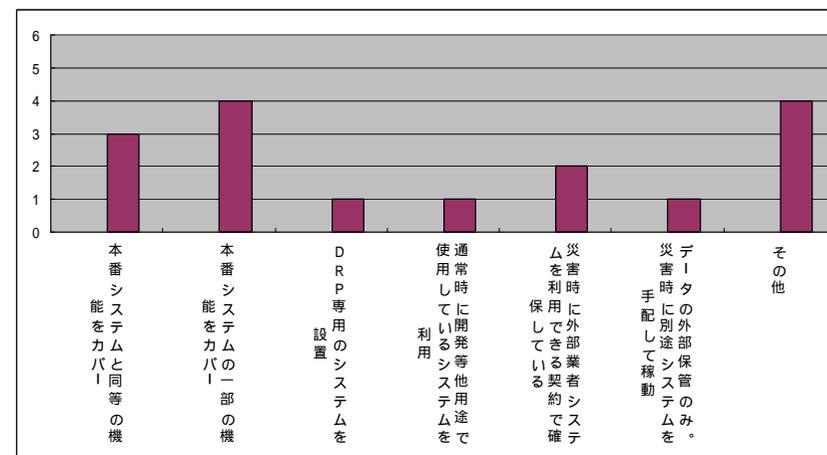
5. テーマ活動 訓練等のノウハウ共有

訓練に関するアンケート結果（ITBO研究会内）

<バックアップオフィス訓練の実施状況>



<システムDRP訓練の実施状況>



●約40%の企業が遠隔地の事業所やビルなどを設定しているが、ほとんどの企業で訓練をしていない

●ほとんどの企業でシステムDRPを策定しているものの、本番環境への影響を考慮して、実働訓練をしていない企業がある

5. テーマ活動 訓練等のノウハウ共有

今後のアンケート実施・結果活用についてのご意見

1. アンケートのサンプル数を増やし精度を上げる
2. BCPの実効性を担保するという観点からアンケート結果をどのように解釈するか検討すべき
3. 業界別、対応レベルが判定できるアンケートが考察できれば有用か
4. バックアップオフィスに関し、具体的にどのような対応方法があるかなど議論を深める余地がありそうである
5. (自社内会議室・食堂の活用など)

5. テーマ活動 ITBO用語整理

毎定例会で、15分間 3から4用語をピックアップ

◆ 1チーム 1-2人で持ち回りで担当

- ・ 和名（英語名）、類似語
- ・ 意味または、定義、複数ある場合は列挙
- ・ 将来ITBO用語集になるように整理

	用語	出典	担当
1	IT サービス	経産省「ITサービス継続ガイドライン」	XXさん
2	IT サービス継続	同上	
3	IT サービス継続マネジメント	同上	
4	IT サービス継続戦略	同上	
5	情報セキュリティ	同上	XXさん
6	事業継続マネジメント（BCM）と事業継続計画（BCP）	同上	
7	目標復旧時間（RTO）、目標復旧ポイント（RPO）、目標復旧レベル（RLO）、最大許容停止時間(MTPD)	同上	
8	ディザスタリカバリープラン（DRP）、緊急時対応計画（コンテ インジェンシープラン）、 初動対応計画(IMP)、システム障害対応規程	同上	XXさん、 XXさん
9	ホットサイト、ウオームサイト、コールドサイト、ミラーサイト		

本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

5. テーマ活動 他研究会とのコラボレーション

BIA研究

BCMの最も重要なステップであるBIAをITBOの視点で研究する

- ◆ BIAの必要性

- ◆ BIAの種類、手法

細坪事務局長のプレゼンを聞いたあと全員でディスカッション

- ◆ パンデミック研究（次年度延期）

6 . 2 0 1 0 年度の活動計画

現在検討中の活動テーマ案

- 訓練に関するアンケート
 - サンプル数の増加
 - アンケート結果をもとにしたヒアリングの実施
- 訓練に関する研究
 - 訓練に関する認識の浸透
 - 訓練の進め方および評価
- ITBO用語集の作成
 - IT用語に詳しくない人がBCP作成時に参照できるもの
 - IT関連、BO関連の基本的な用語の整理
 - ベンダーごとに解釈が違う用語の解説
 - BCAO版との整合
- 他の研究会との交流
- 欧米系ファイナンスの人たちとのセッション
- ユーザー見学（他社データセンターなど）

本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

7 . 最後に

新年度は新体制でまた新たな気分で活動を開始します。皆さんも是非ご加入いただき積極的に参加ください。お待ちしております。



2010年度 ITBO新役員
のみなさん

8 . 研究会メンバーリスト (1 / 2)

◆ 2010年3月31日時点

No	氏名	会社名
1	大塚純一	日本アイ・ビー・エム株式会社
2	関山 雄介	大成建設株式会社
3	川村 丹美	(株)シーエーシー
4	安藤黄太	TIS 株式会社
5	永良浩一	コクヨ株式会社
6	磯部 秀敏	株式会社中電シーティーアイ
7	岡 伸幸	ソフトバンクBB株式会社
8	加藤誠	株式会社日立製作所(日立コンサルティング)
9	駒村 治樹	富士通エフ・アイ・ピー株式会社
10	衣笠 宗彦	株式会社モア・イフェクト
11	小山 高美	株式会社 電算
12	近藤 隆一	株式会社富士通エフサス
13	下吹越 正弘	株式会社内田洋行
14	杉野弘典	株式会社パスコ
15	土橋 篤	みずほ情報総研

No	氏名	会社名
16	田畑 伸悟	日本アイ・ビー・エム株式会社
17	佐藤 学	株式会社リコー
18	伊藤 高信	TeleContinuity, Inc
19	羽石 将士	日立電子サービス株式会社
20	堀 博英	岡三証券
21	宮角 良介	e - 経営推進室
22	山浦 政弘	日本アイ・ビー・エム株式会社
23	山下晋也	日本アイ・ビー・エム株式会社
24	吉川明人	NECネクサソリューションズ
25	木村義昭	日本ビジネスコンピューター株式会社
26	高屋 正裕	日本電気株式会社
27	玉置 久倫	中小企業診断士 玉置事務所
28	近棟あづさ	株式会社エム・ビー・アイ
29	江崎浩輔	NTT東日本
30	千葉 礼子	株式会社アイアイジェイテクノロジー

8 . 研究会メンバーリスト (2 / 2)

No	氏名	会社名
31	松谷 徹	三井住友カード株式会社
32	田野岡 直人	株式会社大栄電機工業
33	大木 幸久	オムロン(株)
34	中村 匡	富士通
35	久間 司	アイティ ソリューション サービス株式会社
36	矢ノ根 俊之	株式会社富士通総研
37	横山 祐輔	(株)富士通エフサス
38	中島 宏	エヌ・ケイ・リスクコンサルティング株式会社
39	伊藤 豊	中部日本電気ソフトウェア株式会社
40	西出 三輝	株式会社 損保ジャパン・リスクマネジメント
41	長谷 俊宏	株式会社エム・ビー・アイ

No	氏名	会社名

特定非営利活動法人
事業継続推進機構
情報システム・バックアップオフィス研究会
A Specified Non-Profit Japanese Corporation
Business Continuity Advancement Organization (BCAO)